



新鮮な海の幸を味わう

登別漁港まつり

大漁旗で飾られた漁船が並ぶ
登別漁港を会場に、歌謡ショー、
花火大会など盛りだくさんのイベン
トのほか、地元で獲れた新鮮な海の幸などが格安で販売され、大勢の買い物客でにぎわう。

- 開催日／9月上旬
- 場所／登別漁港



■農業
森林が市総面積の73%を占めるなど、豊かな緑に恵まれた登別市。農業は、酪農、畜産を中心としたもので、豊かな緑に恵まれた登別市。



地場農畜産物のブランド化に向けて

室蘭登別酪農振興協議会（登別、室蘭市内の酪農家が加入）の出荷した生乳が、北海道トップクラスの乳質を誇っています。株のぼりべつ酪農館では、この衛生的で良質な生乳を原料に牛乳やアイスクリー・ム生産を手掛けるなど、地場農畜産物のブランド化に向け取り組んでいる。

体に発展し、牧草地は農用地面積1千111haの62.9%を超える。経営者の高齢化や後継者不足から農家戸数が減少する中、近い年は、従前の生産する農業から大きな台地のもと、観光産業と結びついた体験型農業を推進している。また、地元産の食肉や乳製品の加工・研究、特色のある地元ブランドの開発を目指して設置された札内高原館では、現在、株のぼりべつ酪農館（地元酪農家や法人などが出資し設立）が



札内高原館

登別市には、登別漁港、鶴別漁港、富浦漁港の3漁港がある。なかでも登別漁港は、いぶり中央漁業協同組合所属の地元船のほか、全国各地からのイカ釣り漁船が利用。近年は、カレイやサクラマスなどの遊漁対象魚種も豊富なことから、遊漁船やプレジャーボートの利用も増えている。漁業は、刺し網のほか、定置網、かご、イカ釣り、ホツキ柄網などが行われ、水揚げ魚種はスケトウダラ、秋サケ、ホツキ貝、毛ガニ、カレイで全体水揚げの約90%を占めている。市では、『つくり育てる漁業』や『資源管理型の漁業』を推進し、漁業経営の安定化を進めることも、水産業と観光産業の連携による交流型の新しい漁港づくりに向けて整備を推進していく。



太平洋と緑豊かな台地 自然の恵みに、産業が息づく

